

令和3年度

教育委員会の点検・評価表



大館市教育委員会

教育総務課

I 点検・評価の主旨について

1 点検・評価の主旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければなりません。

本市教育委員会では、この法律の主旨にのっとり、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民に対して明確でわかりやすい説明を行うため、本報告書を作成し議会に提出するとともに公表するものです。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条に規定する教育委員会で職務権限とされている事務のほか、令和3年度の事務や取り組みとし、学校教育や生涯学習に関することなど、本市教育委員会が所管するすべての事務を対象の範囲としています。点検・評価に当たっては、大館市の「教育大綱」に掲げる「基本理念・基本目標」に沿って、重点施策としている事務・取り組みを選定して実施します。

3 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ること（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項）が求められていることから、学識経験者2名以上を選任し、点検・評価について個別に意見を聴取します。

4 報告書の作成

報告書の作成手順は、次のとおりです。

- ①各課・館において、令和4年度の所管事務の点検・評価項目及び目標（重点施策点検・評価表の目標、活動内容）を作成します。（3月）
- ②4月上旬までに、令和3年度の実施状況と見込みを取りまとめ、報告書（点検・評価）素案を作成します。
- ③学識経験者から、報告書素案について意見を聴取し、報告書案を作成します。また、点検・評価の目標設定案について、意見を聴取します。（5月）
- ④教育委員会（5月定例会）で、報告書について決議します。また、点検・評価の項目内容を報告し了承を得ます。（5月）
- ⑤報告書を6月議会に提出するとともに、ホームページ等で公表します。

目 次

基本理念 ふるさとに学び未来を創造できる「人財」の育成			
I 点検・評価の主旨について			頁
1	点検・評価の主旨		1
2	点検・評価の対象		1
3	学識経験者の知見の活用		1
4	報告書の作成		1
II 点検・評価の結果について			
基本目標			
評価項目・内容		担当課	頁
1 信頼と安全を築く教育環境の整備充実			
重点施策			
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る	教育総務課	3～4
2	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める		5
3	大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信に努める		6
2 ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化			
重点施策			
1	ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める	学校教育課 教育研究所	7
2	地域学校協働活動を推進し、スクール・コミュニティの形成を図る		8
3	共感的・協働的な学び合いへの充実を図り、おおだて型授業(響学)を推進する		9
4	新学習指導要領に対応した教育環境や基盤の整備を推進する		10
3 ふるさとの誇りと未来をはぐむ生涯学習の推進と支援			
重点施策			
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める	生涯学習課 中央公民館 地区公民館 勤労青少年ホーム 女性センター	11～12
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する		13～18
3	高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する		19
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する		20～24
5	「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める		25
6	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する		26～27
4 郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する			
重点施策			
1	大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する	歴史文化課	28
2	郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する		29
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える		30～31
4	歴史的風致維持向上計画に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める		32

重点施策点検・評価表

1-1-1

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る		担当課(館)
	① 大規模改修等による学校整備計画の推進		教育総務課
活動内容	小中学校25校中、8割にあたる20校が建設後30年以上を経過し、学校施設の老朽化対策を早急に講じる必要があるため、平成31年3月に策定した「学校施設長寿命化計画」を基に、建築経過年数や構造体の健全度、統廃合の見込みなどを考慮し、改築と大規模改修対象校を選定して事業実施に必要な調査に着手する。		
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 令和2年度に、建築年の古い桂城小・城南小の改築を検討し耐力度調査を実施したが、躯体の健全性が示され、学校整備は「改築」から「長寿命化改修」へとシフトすることになった。そのため、大規模改修や部位改修を計画的に進めるための中期(5か年)整備計画を策定し、新型コロナウイルス感染症対策及び環境衛生改善のため、文部科学省の交付金を活用して小学校3校のトイレ洋式化工事を実施した。 また、令和2年度から3年度にかけて、小中学校の普通教室及びランチルーム、中学校理科室にエアコンを設置し、猛暑における快適な学習環境の改善が図られた。		
課題等	トイレ洋式化は、国の補正予算を活用し、事業費を前倒して4年度も引き続き実施することになった。加えて、市の木材利用推進計画に基づく木材利用や、ゼロカーボンシティや環境に配慮した整備を改修に組み込む必要がある。そのため、文部科学省をはじめ各種交付金・補助金を洗い出し、積極的な活用により子どもたちの教育環境の整備を進めていかなければならない。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
学識経験者等の意見	令和3年度に「中期整備計画」を策定し、教育環境の整備充実のための行動を開始している。子供たちにとって身近なトイレの洋式化を前倒して実施し、令和4年度も引き続き予定するなど、状況を判断して取り組んでいる姿勢を評価したい。		
	② 学校の維持改修・修繕などの経年劣化対策実施による快適な学習環境の整備		教育総務課
活動内容	施設や設備の改修・修繕が必要な箇所や学校・PTA等から要望がある改修箇所は、次年度予算の要求前に調査を行い、小規模から中規模のものは改修内容の分類や必要経費を算出した上で、危険度などの優先順位を定めて計画的に工事を実施する。 大規模改修や年次計画による改修工事等を計画する場合は、国の補助金を活用して実施を検討する。		
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 老朽化に伴う改修・修繕は、計画的な施工のほか突発・緊急的な事故等にもすぐに対応し、学校運営に支障をきたさないよう適切に処置した。しかし、次々と破損や故障が発生するため、即座に緊急度や優先順位を判断し、限られた予算を最大限に活用し対応した。 また、大雪となった今冬は積雪による被害が相次ぎ、被害発生が疑われる事案を事前に覚知した場合は、教育委員会職員が人海戦術で除排雪を行うなど、被害の未然防止に努めた。		
課題等	学校やPTA等からの要望は、老朽化が進む校舎や設備に対する改修がほとんどであり、年々増加する一方だが、教育活動を止めることのないよう緊急・突発的な修繕を優先せざるを得ないため、要望の改善が不十分である。しかしながら、長年要望が強かったエアコン整備や、3か年かけた学校遊具整備事業など着実に進めてきた成果もみられることから、引き続き、実現可能な施策の情報収集と、あらゆる予算の確保に努めていく必要がある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
学識経験者等の意見	突発的な依頼が多いとは思いますが、学校やPTAからの要望に応えるべく、限られた予算を工夫して対応している。特に、大雪となった今冬は、被害防止のために教育委員会の職員が直接出向いて作業して下さったことに感謝したい。		

重点施策点検・評価表

1-1-2

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る
	担当課(館)
	③ 会計年度任用職員(校務主事等)の適正な人事管理
	教育総務課
活動内容	小中学校に配置している校務主事など、教育総務課で任用して給与の支払いやサービスに関して管理している会計年度任用職員は約200人に上る。配置校によって勤務時間や勤務条件も多種多様で、中途退職者も多いことから、適正な人事管理により児童生徒の学校生活を支援し、より良い教育環境づくりを進める。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 教育支援員や給食調理技師等に年度途中の退職者が数名発生したが、ハローワーク等を通じて随時補充し、学校運営や教育活動に支障をきたすことなく適正に管理した。
課題等	毎年実施してきた安全衛生講習会など、会計年度任用職員に対して実施する必要がある教育が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止または規模縮小に追い込まれている。 現時点ではコロナの収束は見込めない状況にあるため、スキルの向上につなげる教育の機会をどのようにして確保するか検討する必要がある。
学識経験者等の意見	学校において、人的欠員が発生することのないよう迅速に対応したことは、大変ありがたいことである。職務の遂行に必要な教育や働き方の改善については、コロナ禍のため実施に困難を伴うが、可能な限り実施及び対応していただきたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)
課題等	
	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

1-2

基本目標	
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実
重点施策	
2	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める
	担当課(館)
	① 社会教育施設の充実と安全性の確保
	教育総務課
活動内容	高齢者や障害者の利用に配慮し、田代図書館、田代公民館の手摺設置工事を早期に完成させる。比内公民館のエアコン更新や北地区コミュニティセンターの排煙装置補修工事等の改修・補修工事は施設利用者に配慮しながら滞滞なく実施し、地域コミュニティの核となる施設の良い環境を維持する。 経年劣化による故障や破損には応急処置などで対応しながら施設の機能維持を図り、速やかに必要な予算を確保して修繕や改修を行い、利用者の安心と安全確保を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 田代図書館、田代公民館の手摺設置工事は5月初旬に完成させ、その他公民館のエアコン更新工事や郷土博物館空調設備更新工事などを計画的に発注し、利用者の利便性の向上と良好な利用環境の整備に努めた。
課題等	令和3年3月に策定した「大館市社会教育施設長寿命化計画」に基づき、施設所管課の生涯学習課と連携し、施設の集約化及び存続施設の改修について、計画的実施を実現する整備計画を策定しなければならない。 なお、大規模改修工事等には多額の費用が必要となるため、補助金等の財源の確保が課題となる。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	社会教育施設の充実と安全性の確保など、他課と連携して当初予定していた工事を予定どおり完了したことを評価したい。リーダーシップを発揮して当該課等に整備計画を策定させ、計画的に整備を進めていただきたい。
	② 公民館等の社会教育施設の適正管理
	教育総務課
活動内容	施設の運営に直接影響を及ぼす高圧気中開閉器更新工事(栗盛図書館)や、衛生環境向上のための下川沿公民館及び有浦児童館下水道接続工事を実施するほか、年間を通じて管理が必要な保守点検等を施設管理者と調整を図りながら進め、良好な施設運営と適正な施設管理を維持する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 施設運営に直接影響を及ぼす工事は早期に施工し、その他当初から計画していた工事は予定どおり完成させた。 また、設備の故障や不具合には、施設管理者と連携しながら速やかに対応し、利用者の活動に支障をきたさないよう維持管理に努めた。
課題等	建物の老朽化に伴う修繕は元より、設備の故障が多くなってきている。 保有施設50施設のうち約6割が築30年を超えてきている現状から、故障による施設利用停止とならないよう、計画的な更新計画を作成し進めていく必要がある。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	保有施設の老朽化により、計画的な更新計画の作成とその実施は急務となっている。市内における各施設の「位置づけ」を広く吟味し、この先数年後を見通した準備を進めていただきたい。

重点施策点検・評価表

1-3

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
3	大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信に努める		担当課(館)
	① 教育委員会施策の情報発信の強化		教育総務課
活動内容	<p>・毎月開催する教育委員会会議に、実施する施策やその進捗状況などを的確に報告し、協議や討議内容を議事録にまとめてホームページ等で公表する。</p> <p>・教育委員会事務事業の点検・評価表や総合教育会議の議事録など、教育委員会の活動内容を市民をはじめ全国に発信し、取り組みを進めている教育の産業化構想やおおだて型教育の周知を図るとともに、大館で学ぶ移住・交流人口の拡大に努める。</p> <p>・教育委員会活動の透明性を図るため、ホームページや定例記者会見、報道機関などを活用し、情報発信をより積極的に行う。</p>		
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>教育委員会会議及び総合教育会議や、教育委員会事務事業の点検・評価の結果を市ホームページで公表し、大館の教育が取り組む活動状況への理解を深めていただくとともに、教育委員会が進めた政策の透明化を図った。 また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている家庭を支援するため「教育ローン利子補給事業」を実施するにあたり、ホームページのほか、市長記者会見や報道機関への情報提供などによる積極的な情報発信を行い、事業の周知を図った。</p>		
課題等	大館の教育の理念と実践結果を全国に情報発信する手段として、主に市ホームページを活用しているが、日常生活の中における情報発信媒体の多様化に伴い、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)等のアプリケーションサービスを活用した発信手段の検討を進めていく必要がある。	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>	
学識経験者等の意見	現在、教育委員会のホームページや市の広報、新聞等の報道機関を活用して情報発信がなされている。伝えたい対象や内容によって、利用するメディアを工夫したいと思う。市の広報は全戸配布であり、身近で有力なメディアだと思う。		
	② 東北都市教育長協議会役員会・定期総会開催時における「おおだて型授業」の発信		教育総務課
活動内容	東北都市の教育長が集う「東北都市教育長協議会」の役員会(3年10月)及び総会(4年4月)が45年ぶりに本市で開催される。いずれの会も小中学校の授業を視察する予定としているため、絶好の機会と捉え「おおだて型授業」を全国に発信する。		
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input type="checkbox"/>目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下回る <input checked="" type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により役員会はオンライン開催となり、「大館型授業」を視察して全国に発信する機会を得ることが出来なかった。</p>		
課題等	令和4年4月21、22日の総会は、予定どおり本市で開催されることが決定している。コロナ感染症対策を講じ、万全の態勢で東北各都市の教育長をお迎えし、初日に行われる授業視察で、ふるさとキャリア教育に取り組んできた10年の成果に理解を深めてもらい、全国に「おおだて型授業」を発信する機会としなければならない。	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止検討</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度</p>	
学識経験者等の意見	東北都市教育長協議会の役員会や定期総会が開催されること自体が大きな出来事であり、大館市の教育というパッケージが高く評価された結果と認識している。令和4年度の実施後は、その成果を市民にも強く発信していただきたい。		

重点施策点検・評価表

2-1

基本目標			
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化		
重点施策			
1	ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人材の育成に努める	担当課（館）	
	① SDG s の視点からの価値付けによるふるさとキャリア教育の深化		学校教育課 教育研究所
	活動内容	ふるさとキャリア教育1年目を迎え、これまでの各校の実践や子どもハローワーク、子どもサミットなどの取組をSDG s の視点から捉え直し、価値づけていくことでふるさとキャリア教育や各校の百花繚乱作戦を一層充実させる。子どもも教職員、保護者や地域も活動の意義や目的を再確認することで、これからの「未来大館市民」育成の教育的効果を高めていく。	
	点検評価	<p>■目標を上回る □目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>年度初めの校長会において、SDG s の視点で各校の百花繚乱作戦を価値付けるよう教育長から指示があり、6月の校長面接で各校の経営と具体的な計画を確認することができた。(各校のSDG s の実践を一覧表に作成済み)</p> <p>川口小学校のリサイクルステーションの設置、釈迦内小学校のトンガへの復興支援活動、桂城小学校のSDG s をコンセプトにした鶏めし弁当、成章小学校の自給自足(みそ作り)の学習など様々な実践が展開された。また、子どもサミットで取り組んできたこでん回収運動をテーマにしたゴミ収集車のラッピング車デザインにも、317人もの応募があり、子どもたちの意識の高さが伺えた。</p>	
	課題等	<p>校内の活動に留めることなく、地域や市民の意識を醸成する地域貢献活動を目指して、教育委員会が行政や関係団体との連携を橋わたしたり、フェイスブック等で活動を発信する。</p> <p>取組の方向性</p> <p>■ 継続 □ 廃止検討 □ 単年度</p>	
	学識経験者等の意見	新しい価値基準によりふるさとキャリア教育を見直すことで、新たな気づきや活動の意味づけ、広がりや再認識することができたと思う。これからも、外の世界に目を向け、地域社会と連携し、広く発信することを通して継続していただきたい。	
	② いじめ・不登校問題の予防及びその克服のための支援体制の充実		教育研究所
	活動内容	いじめ・不登校調査の分析と活用、関係機関との連携により、未然防止と早期対応を一層充実させる。不登校対策については、新たな対策を模索しながら、あきらめない対応を進める。特に、毎月の欠席状況調査を分析し、教育研究所から学校への聞き取りや指導助言をこまめに行う。	
	点検評価	<p>□目標を上回る ■目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>不登校及び不登校傾向の児童生徒数は微増傾向にあるが、成果点としては、関係機関との情報共有による諸問題への対応及び支援体制の充実が挙げられる。毎月の欠席状況調査の分析の他、夏季休業中の市内全小中学校との情報交換会や年3回の子育て相談会の実施などによって、いじめ・不登校等の諸問題を抱える児童生徒の情報を共有し、その対応について協議している。このことが、児童生徒の特性の理解、具体的な支援策、あるいは、家庭との連携によるカウンセリングや各種発達検査などにつながるができている。</p>	
	課題等	<p>不登校の原因は多岐にわたるが、家庭の養育を背景とするケースも多い。さらに、不登校児童生徒の中には、メディア依存やそれに伴う昼夜逆転の生活の問題を抱える割合が高い。今後も、各関係機関と未然防止の取り組みや支援の在り方について連携していくとともに、各校における指導体制づくりと組織的対応が迅速に進むように働きかけをしていく。</p> <p>取組の方向性</p> <p>■ 継続 □ 廃止検討 □ 単年度</p>	
学識経験者等の意見	本人も保護者も心を痛める問題であり、対応も固定化されたものではない。各校や諸関係機関が今まで行ってきた取組を評価したい。今後も連携を深め、役割分担を明確にしなが、粘り強く支援していただきたい。		

重点施策点検・評価表

2-2

基本目標			
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化		
重点施策			
2	地域学校協働活動を推進し、スクール・コミュニティの形成を図る	担当課（館）	
	① ふるさとキャリア教育を根幹とした特色ある学校経営の展開	学校教育課 教育研究所	
	活動内容	ふるさとキャリア教育夢事業、ふるさとキャリア教育ステップアップ事業を活用して、各校の百花繚乱作戦をより充実・発展させ、地域全体を巻き込んだ教育活動にしていく。地域の学習材等の教育資源を活用した授業や起業体験活動の開発を支援、奨励し拡充していく。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) ステップアップ事業（30万円×3校）に応募した①矢立小学校ふるさとカルタで学ぶ「矢立の自然・歴史・大発見！」②扇田小学校出前美術館-Artが大館市にやってきた③第一中学校「ランドマークプロジェクト『飛び出せ！一中！』」は、予算を有効に活用した地域との新たな連携や活動の展開が見られた。他にも、地元企業とのコラボによりプロジェクトをバージョンアップさせるなど、マスコミやSNSを通してコロナ禍にありながら活躍する小中学生の姿が市民にも発信された。 また、大館商工会議所との共催により、「ふるさとキャリア教育作品コンクール」を創設し、各校における取り組み、活動の中から生まれた表彰作品を秋田犬の里で展示し、市民にも紹介することができた。	
	課題等	これまで本事業を活用していない学校（未実施13校）には、積極的な活用を促す。 第2回ふるさとキャリア教育作品コンクールを年度始めから周知し、より多くの作品を表彰するとともに、作品展示の機会を広げる。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	各校で取り組んできたふるさとキャリア教育に予算的裏付けがなされ、新たな展開に期待が膨らむ。「ふるさとキャリア教育作品コンクール」も地域連携の成果から実施されており、特色ある学校経営に生かしてほしい。	
	② 地域に開かれた教育活動の取組による元気の発信と地域貢献	学校教育課 教育研究所	
	活動内容	各校のふるさとキャリア教育を核にして、学校評議委員会や外部評価委員会、地域学校協働活動、PTA活動など関連する団体や組織を新たな枠で捉え直し、令和型の大館版コミュニティ・スクールの構築を調査研究する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 市内に1校だったコミュニティ・スクールの制度を全校に一斉導入することについて、生涯学習課がこれまで2回の検討委員会を開催し、本市で可能な体制について方向性を提案している。2月には、校長会・教頭会に説明をし、移行が学校の負担になることなく、各校のふるさとキャリア教育を支える既存の仕組みを学校経営に位置づけ、社会に開かれた教育課程、学校経営を推進するよう周知した。	
	課題等	令和5年度の完全実施を視野に入れ、今年度はR型コミュニティ・スクールの準備期間とし、実質的先行実施も奨励している。既存の地域団体との連携により、地域の特色ある組織を学校ごと、あるいは、中学校区ごとに試行していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	コミュニティ・スクール制度への移行は、時代の要請でもある。令和型もしくはおだて型として、市内1校での先行実践の成果等を生かしながら、各校の課題解決に資するように、導入・推進していただきたい。		

重点施策点検・評価表

2 - 3

基本目標			
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化		
重点施策			
3	共感的・協働的な学び合いへの充実を図り、おおだて型授業（響学）を推進する		担当課（館）
	① 第9次学力向上に関する提言の実践と、「おおだて型学力」育成に向けた授業改善		学校教育課 教育研究所
	活動内容	第9次学力向上に関する提言（最終年度）により、おおだて型授業の確立に向けた研修会を充実するとともに、学校訪問による適切な指導・助言により校内研究を充実させる。おおだて型学力推進委員会を中心として、第9次提言の評価と、次年度から始まる第0次提言を作成する。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 教育研究所が主催する「授業力向上支援研修」は、授業技術や学級経営に優れた授業マイスター14名の授業を採用2～10年目までの教員が年2回程度、学校や校種、教科の垣根を越えて参観し、おおだて型授業を学ぶ研究システムである。110名の教員が参観し、授業後のミニ研修会では、授業者から子どもへの接し方や教材研究について学んだり、若手教員が質問したりできる貴重な機会となっている。 「おおだて型授業」においては、全国学力・学習状況調査質問紙の結果において、「人が困っているときには、進んで助けている」に肯定的回答をした子どもたちが90%以上、教職員アンケートでは95%以上で、手応えを感じていることが分かる。このことは、おおだて型学力の根幹である「共感力」「協働力」につながるものである。	
	課題等	「おおだて型授業」において、学び合いの質をさらに高め、深めるためには、集団だけでなく、知的好奇心や見方・考え方なども一度子どもたち一人一人の有り様にも目を向ける必要があると考える。第9次提言の成果を進化させ、課題を解決していくにあたり、子どもの学びの原点である授業づくりを大切に、第0次提言を周知し具現化していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	年々若い教員が増加することから、先輩教員のノウハウを伝える機会を作ることは必須である。この点について、「おおだて型授業」を学ぶ研究システムを構築し実践していることを高く評価したい。	
	② 「おおだて型授業（響学）」におけるICT活用スタイルの実践的研究		学校教育課 教育研究所
	活動内容	全小・中学校に整備された一人一台タブレット、校内Wi-Fi環境、電子黒板等を活用して、「共感的・協働的な学び合い」や「一人たりとも置き去りにしない授業」の実現に向けた調査研究を行う。秋田県教育委員会委嘱の「ICTを活用した授業改善支援事業」の指定校となっている城南小学校（3カ年）の研究実践を中心にしながら、随時、実践や成果を市全体に広げることで、全小・中学校の取組とする。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 城南小学校では、秋田の探究型授業を受けた大館市が提唱する「おおだて型授業」を踏まえ、「シンカタイム」を学び合いの中心に位置付けてきた。令和3年度からは「ICTを活用した授業改善支援事業」の推進校となり、国語科を基にした研究にICTを組み込みながら授業力向上にも取り組んできた。学習支援ソフト（ロイロノート）に加え、全学年に国語と算数のデジタル教科書を導入し活用してきた。 また、城南小学校だけでなく、市教委学校訪問の際に多くの学校でICTを有効に活用した授業があった。1月に行われた大館市教職員研究実践発表会で、優れた実践の中から小中学校各1校ずつ「ICTを活用した実践」の発表があった。	
	課題等	ICTを活用した授業改善支援事業推進校である城南小学校教員のICT活用指導力も日々の授業実践や研修会を通して次第に身に付いてきた。市のICT活用推進委員会と連携しながら、他校へと実践の輪を広げる必要がある。また、おおだて型授業の柱である「共感的・協働的な学び合い」には、学習支援ソフトが必要であることから各校で無料ソフトを活用した授業を支援していきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	ICTは学びを深める「手段」とであるとよく言われる。今回研究推進指定校である城南小学校の実践を通して、成果や課題が見えてきていると思う。特に、おおだて型授業の深化につながるICTの活用の仕方について注目したい。		

重点施策点検・評価表

2 - 4

基本目標																																	
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化																																
重点施策																																	
4	新学習指導要領に対応した教育環境や基盤の整備を推進する(学校教育課・教育研究所) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">担当課(館)</td> </tr> <tr> <td>① 未来大館市民としての資質・能力を育成するための体制を構築する</td> <td style="text-align: center;">学校教育課 教育研究所</td> </tr> <tr> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">活動内容</td> <td>新学習指導要領の全面実施により、英語教育、道徳、プログラミング教育等のカリキュラムの作成や教職員の研修を充実する。小学校英語では、学級担任・外国語活動支援員の専門性向上、小・中学校英語のより良い接続を目指して、小学校英語教育推進委員会を立ち上げ、中学校英語科の教育専門監も活用しながら英語教育の充実を図る。</td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">市「第2期大館市総合戦略(令和2年3月)」に切れ目のない英語教育の環境整備」を新たな目標として掲げている。英語教育推進アドバイザーを中心に、就学前・小学校低学年にも、英語に親しむ活動・授業を展開する。</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">取組の方向性</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td>社会が学校に求める資質・能力の中で、特に小学校の英語教育については関心の高さを感じる。市では支援員9名と外国語アドバイザー1名を配置して取組んでいるということであり、時機を得た取組と評価したい。</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>② 学校と行政の連携により、個性や特性が発揮できる教育環境や教職員の職場環境の整備</td> <td style="text-align: center;">学校教育課</td> </tr> <tr> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">活動内容</td> <td>全校のエアコン稼働、コロナウイルス感染症防止のための備品等のスムーズな活用に向けての条件整備を進める。 GIGAスクールについては、家庭でのオンライン授業の可能性を調査研究する。教職員の働き方改革を推進するため、校務支援システムによる事務量の軽減、出勤時間の管理、人的な資源活用(部活動指導員、学校サポーター等)の効果を検証しながら改善策を検討する。</td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">エアコンについては、未設置の特別支援教室や通級教室への設置を進めていく。GIGAタブレットの活用については、教育現場と協議しながら適切な持ち帰りの方法を探っていきたい。教職員の働き方改革については、部活動指導員の増員や日曜日の部活動指導者派遣などを進めていく。</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">取組の方向性</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td>エアコン設置、タブレット導入、コロナ対応、部活動外部人材派遣など、教育環境の急激な変化に対応した施策が実行されている。学校教育の深化を考える上で基盤となる。特に、中学校の部活動に関して、人的整備の拡充をお願いしたい。</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>		担当課(館)	① 未来大館市民としての資質・能力を育成するための体制を構築する	学校教育課 教育研究所	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">活動内容</td> <td>新学習指導要領の全面実施により、英語教育、道徳、プログラミング教育等のカリキュラムの作成や教職員の研修を充実する。小学校英語では、学級担任・外国語活動支援員の専門性向上、小・中学校英語のより良い接続を目指して、小学校英語教育推進委員会を立ち上げ、中学校英語科の教育専門監も活用しながら英語教育の充実を図る。</td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">市「第2期大館市総合戦略(令和2年3月)」に切れ目のない英語教育の環境整備」を新たな目標として掲げている。英語教育推進アドバイザーを中心に、就学前・小学校低学年にも、英語に親しむ活動・授業を展開する。</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">取組の方向性</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td>社会が学校に求める資質・能力の中で、特に小学校の英語教育については関心の高さを感じる。市では支援員9名と外国語アドバイザー1名を配置して取組んでいるということであり、時機を得た取組と評価したい。</td> </tr> </table>	活動内容	新学習指導要領の全面実施により、英語教育、道徳、プログラミング教育等のカリキュラムの作成や教職員の研修を充実する。小学校英語では、学級担任・外国語活動支援員の専門性向上、小・中学校英語のより良い接続を目指して、小学校英語教育推進委員会を立ち上げ、中学校英語科の教育専門監も活用しながら英語教育の充実を図る。	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	課題等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">市「第2期大館市総合戦略(令和2年3月)」に切れ目のない英語教育の環境整備」を新たな目標として掲げている。英語教育推進アドバイザーを中心に、就学前・小学校低学年にも、英語に親しむ活動・授業を展開する。</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">取組の方向性</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> </table>	市「第2期大館市総合戦略(令和2年3月)」に切れ目のない英語教育の環境整備」を新たな目標として掲げている。英語教育推進アドバイザーを中心に、就学前・小学校低学年にも、英語に親しむ活動・授業を展開する。	取組の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	学識経験者等の意見	社会が学校に求める資質・能力の中で、特に小学校の英語教育については関心の高さを感じる。市では支援員9名と外国語アドバイザー1名を配置して取組んでいるということであり、時機を得た取組と評価したい。	② 学校と行政の連携により、個性や特性が発揮できる教育環境や教職員の職場環境の整備	学校教育課	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">活動内容</td> <td>全校のエアコン稼働、コロナウイルス感染症防止のための備品等のスムーズな活用に向けての条件整備を進める。 GIGAスクールについては、家庭でのオンライン授業の可能性を調査研究する。教職員の働き方改革を推進するため、校務支援システムによる事務量の軽減、出勤時間の管理、人的な資源活用(部活動指導員、学校サポーター等)の効果を検証しながら改善策を検討する。</td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">エアコンについては、未設置の特別支援教室や通級教室への設置を進めていく。GIGAタブレットの活用については、教育現場と協議しながら適切な持ち帰りの方法を探っていきたい。教職員の働き方改革については、部活動指導員の増員や日曜日の部活動指導者派遣などを進めていく。</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">取組の方向性</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td>エアコン設置、タブレット導入、コロナ対応、部活動外部人材派遣など、教育環境の急激な変化に対応した施策が実行されている。学校教育の深化を考える上で基盤となる。特に、中学校の部活動に関して、人的整備の拡充をお願いしたい。</td> </tr> </table>	活動内容	全校のエアコン稼働、コロナウイルス感染症防止のための備品等のスムーズな活用に向けての条件整備を進める。 GIGAスクールについては、家庭でのオンライン授業の可能性を調査研究する。教職員の働き方改革を推進するため、校務支援システムによる事務量の軽減、出勤時間の管理、人的な資源活用(部活動指導員、学校サポーター等)の効果を検証しながら改善策を検討する。	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	課題等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">エアコンについては、未設置の特別支援教室や通級教室への設置を進めていく。GIGAタブレットの活用については、教育現場と協議しながら適切な持ち帰りの方法を探っていきたい。教職員の働き方改革については、部活動指導員の増員や日曜日の部活動指導者派遣などを進めていく。</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">取組の方向性</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> </table>	エアコンについては、未設置の特別支援教室や通級教室への設置を進めていく。GIGAタブレットの活用については、教育現場と協議しながら適切な持ち帰りの方法を探っていきたい。教職員の働き方改革については、部活動指導員の増員や日曜日の部活動指導者派遣などを進めていく。	取組の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	学識経験者等の意見	エアコン設置、タブレット導入、コロナ対応、部活動外部人材派遣など、教育環境の急激な変化に対応した施策が実行されている。学校教育の深化を考える上で基盤となる。特に、中学校の部活動に関して、人的整備の拡充をお願いしたい。
		担当課(館)																															
	① 未来大館市民としての資質・能力を育成するための体制を構築する	学校教育課 教育研究所																															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">活動内容</td> <td>新学習指導要領の全面実施により、英語教育、道徳、プログラミング教育等のカリキュラムの作成や教職員の研修を充実する。小学校英語では、学級担任・外国語活動支援員の専門性向上、小・中学校英語のより良い接続を目指して、小学校英語教育推進委員会を立ち上げ、中学校英語科の教育専門監も活用しながら英語教育の充実を図る。</td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">市「第2期大館市総合戦略(令和2年3月)」に切れ目のない英語教育の環境整備」を新たな目標として掲げている。英語教育推進アドバイザーを中心に、就学前・小学校低学年にも、英語に親しむ活動・授業を展開する。</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">取組の方向性</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td>社会が学校に求める資質・能力の中で、特に小学校の英語教育については関心の高さを感じる。市では支援員9名と外国語アドバイザー1名を配置して取組んでいるということであり、時機を得た取組と評価したい。</td> </tr> </table>	活動内容	新学習指導要領の全面実施により、英語教育、道徳、プログラミング教育等のカリキュラムの作成や教職員の研修を充実する。小学校英語では、学級担任・外国語活動支援員の専門性向上、小・中学校英語のより良い接続を目指して、小学校英語教育推進委員会を立ち上げ、中学校英語科の教育専門監も活用しながら英語教育の充実を図る。	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	課題等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">市「第2期大館市総合戦略(令和2年3月)」に切れ目のない英語教育の環境整備」を新たな目標として掲げている。英語教育推進アドバイザーを中心に、就学前・小学校低学年にも、英語に親しむ活動・授業を展開する。</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">取組の方向性</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> </table>	市「第2期大館市総合戦略(令和2年3月)」に切れ目のない英語教育の環境整備」を新たな目標として掲げている。英語教育推進アドバイザーを中心に、就学前・小学校低学年にも、英語に親しむ活動・授業を展開する。	取組の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	学識経験者等の意見	社会が学校に求める資質・能力の中で、特に小学校の英語教育については関心の高さを感じる。市では支援員9名と外国語アドバイザー1名を配置して取組んでいるということであり、時機を得た取組と評価したい。																				
	活動内容	新学習指導要領の全面実施により、英語教育、道徳、プログラミング教育等のカリキュラムの作成や教職員の研修を充実する。小学校英語では、学級担任・外国語活動支援員の専門性向上、小・中学校英語のより良い接続を目指して、小学校英語教育推進委員会を立ち上げ、中学校英語科の教育専門監も活用しながら英語教育の充実を図る。																															
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)																															
	課題等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">市「第2期大館市総合戦略(令和2年3月)」に切れ目のない英語教育の環境整備」を新たな目標として掲げている。英語教育推進アドバイザーを中心に、就学前・小学校低学年にも、英語に親しむ活動・授業を展開する。</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">取組の方向性</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> </table>	市「第2期大館市総合戦略(令和2年3月)」に切れ目のない英語教育の環境整備」を新たな目標として掲げている。英語教育推進アドバイザーを中心に、就学前・小学校低学年にも、英語に親しむ活動・授業を展開する。	取組の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度																											
	市「第2期大館市総合戦略(令和2年3月)」に切れ目のない英語教育の環境整備」を新たな目標として掲げている。英語教育推進アドバイザーを中心に、就学前・小学校低学年にも、英語に親しむ活動・授業を展開する。	取組の方向性																															
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度																															
	学識経験者等の意見	社会が学校に求める資質・能力の中で、特に小学校の英語教育については関心の高さを感じる。市では支援員9名と外国語アドバイザー1名を配置して取組んでいるということであり、時機を得た取組と評価したい。																															
② 学校と行政の連携により、個性や特性が発揮できる教育環境や教職員の職場環境の整備	学校教育課																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">活動内容</td> <td>全校のエアコン稼働、コロナウイルス感染症防止のための備品等のスムーズな活用に向けての条件整備を進める。 GIGAスクールについては、家庭でのオンライン授業の可能性を調査研究する。教職員の働き方改革を推進するため、校務支援システムによる事務量の軽減、出勤時間の管理、人的な資源活用(部活動指導員、学校サポーター等)の効果を検証しながら改善策を検討する。</td> </tr> <tr> <td>点検評価</td> <td> <input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) </td> </tr> <tr> <td>課題等</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">エアコンについては、未設置の特別支援教室や通級教室への設置を進めていく。GIGAタブレットの活用については、教育現場と協議しながら適切な持ち帰りの方法を探っていきたい。教職員の働き方改革については、部活動指導員の増員や日曜日の部活動指導者派遣などを進めていく。</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">取組の方向性</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>学識経験者等の意見</td> <td>エアコン設置、タブレット導入、コロナ対応、部活動外部人材派遣など、教育環境の急激な変化に対応した施策が実行されている。学校教育の深化を考える上で基盤となる。特に、中学校の部活動に関して、人的整備の拡充をお願いしたい。</td> </tr> </table>	活動内容	全校のエアコン稼働、コロナウイルス感染症防止のための備品等のスムーズな活用に向けての条件整備を進める。 GIGAスクールについては、家庭でのオンライン授業の可能性を調査研究する。教職員の働き方改革を推進するため、校務支援システムによる事務量の軽減、出勤時間の管理、人的な資源活用(部活動指導員、学校サポーター等)の効果を検証しながら改善策を検討する。	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	課題等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">エアコンについては、未設置の特別支援教室や通級教室への設置を進めていく。GIGAタブレットの活用については、教育現場と協議しながら適切な持ち帰りの方法を探っていきたい。教職員の働き方改革については、部活動指導員の増員や日曜日の部活動指導者派遣などを進めていく。</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">取組の方向性</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> </table>	エアコンについては、未設置の特別支援教室や通級教室への設置を進めていく。GIGAタブレットの活用については、教育現場と協議しながら適切な持ち帰りの方法を探っていきたい。教職員の働き方改革については、部活動指導員の増員や日曜日の部活動指導者派遣などを進めていく。	取組の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	学識経験者等の意見	エアコン設置、タブレット導入、コロナ対応、部活動外部人材派遣など、教育環境の急激な変化に対応した施策が実行されている。学校教育の深化を考える上で基盤となる。特に、中学校の部活動に関して、人的整備の拡充をお願いしたい。																					
活動内容	全校のエアコン稼働、コロナウイルス感染症防止のための備品等のスムーズな活用に向けての条件整備を進める。 GIGAスクールについては、家庭でのオンライン授業の可能性を調査研究する。教職員の働き方改革を推進するため、校務支援システムによる事務量の軽減、出勤時間の管理、人的な資源活用(部活動指導員、学校サポーター等)の効果を検証しながら改善策を検討する。																																
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)																																
課題等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">エアコンについては、未設置の特別支援教室や通級教室への設置を進めていく。GIGAタブレットの活用については、教育現場と協議しながら適切な持ち帰りの方法を探っていきたい。教職員の働き方改革については、部活動指導員の増員や日曜日の部活動指導者派遣などを進めていく。</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">取組の方向性</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度 </td> </tr> </table>	エアコンについては、未設置の特別支援教室や通級教室への設置を進めていく。GIGAタブレットの活用については、教育現場と協議しながら適切な持ち帰りの方法を探っていきたい。教職員の働き方改革については、部活動指導員の増員や日曜日の部活動指導者派遣などを進めていく。	取組の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度																												
エアコンについては、未設置の特別支援教室や通級教室への設置を進めていく。GIGAタブレットの活用については、教育現場と協議しながら適切な持ち帰りの方法を探っていきたい。教職員の働き方改革については、部活動指導員の増員や日曜日の部活動指導者派遣などを進めていく。	取組の方向性																																
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度																																
学識経験者等の意見	エアコン設置、タブレット導入、コロナ対応、部活動外部人材派遣など、教育環境の急激な変化に対応した施策が実行されている。学校教育の深化を考える上で基盤となる。特に、中学校の部活動に関して、人的整備の拡充をお願いしたい。																																

重点施策点検・評価表

3-1-1

推進目標			
3	ふるさとへの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める		担当課(館)
	① 達人講座の実施		生涯学習課
	活動内容	地域のサークル等の講師(達人)が、小中学生(親子含む)を対象にボランティアで講座を開設し、令和元年度と同じく22講座を実施する。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	
		昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により後期のみの開設となったが、今年度は換気・消毒等の対策を講じ、前期・後期ともに実施した。 また、今年度新たに6講座(えんぴつ講座、食べ方マナー講座、親子料理教室、将棋講座、おにぎり作り、木のモノ作り)を加えた25講座を開設し、申込者数は437人であった。 ・令和元年度:22講座(申込者数402人) ・令和2年度:9講座(申込者数287人、前年度より29%減)※新型コロナ対策のため後期のみ開設 ・令和3年度:25講座(申込者数437人、前年度より52%増、令和元年度より8%増)	
	課題等	より広い周知をして登録件数増加や利活用の促進を図っていききたい。名簿の内容は、随時チェックしながら更新し、使いやすさを維持していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	コロナ禍ではあるが、市民からのニーズが相当あると考えられるので、これからも利用者との講座内容がマッチングしていけば、目標を上回る結果が出ると思う。今後とも頑張っていただきたい。	
	② 人材リスト「おおだて人材名簿」の充実と活用		生涯学習課
	活動内容	高等教育機関(大学、短大)や学校ボランティア、公民館等から新規人材を発掘し、特技や知識を持つ市民を「人材」として募集・登録し、学校や公民館などさまざまな学習活動の場での活用を促す環境の整備を図り、市内各所(小中学校25校、社会教育施設等18か所)に配置し、市ホームページも更新する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	
人材名簿への新規登録が1団体、活用申込みはなかった。 令和3年度 登録50人 18団体 差し替え名簿を配置先へ送付するとともに、4月1日に市ホームページを更新した。			
課題等	より広い周知をして登録件数増加や利活用の促進を図っていききたい。名簿の内容は、随時チェックしながら更新し、使いやすさを維持していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
学識経験者等の意見	人材リストの利活用については、コロナ禍の中でなかなか難しい要素もあるが、市民の方が何かやるときにこのような「おおだて人材名簿」を活用できるよう、もっとPRをしてほしい。		

重点施策点検・評価表

3-1-2

推進目標	
3	ふるさとへの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める
	担当課(館)
	③ 「大館市出前講座」の充実と活用
	生涯学習課
活動内容	市民の自主的な学習活動を支援するため、市の制度や事業等について市職員が出向いて説明を行う「出前講座(65講座)」を実施し、利用件数150件、受講者数7,000人(延べ)を目指す。 令和元年度58講座(実績:238件、14,779人) 令和2年度66講座(実績:126件、7,717人) 令和3年度65講座(実績:133件、4,038人)
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) コロナ禍により市民活動が全体的に自粛傾向であったことから、結果としては133件4,038人の受講に留まり、件数はほぼ前年度並みであったが利用者が大幅減となった。メニュー講座として、救急や防災に関する講座、フレイル予防や食生活など健康に関する講座、木育を体験しようの申込みが多かった。メニューにないものの担当課が受け入れた特別メニューの講座としては、14件中ポッチャ体験が7件と半数を占めており、東京パラリンピックや市の先導的共生ホストタウンとしての取り組みが周知されてきているものと推測される。
課題等	メニュー講座65講座のうち利用は救急や防災講座、健康など29講座だったが、利用のない講座もあるので、市民ニーズにあったメニューの見直しとより一層の周知をしていきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	アンテナを高くして、話題性のあるものやタイムリーなものを拾っていけば、いろいろな楽しい講座ができると思うので、これからも継続してほしい。
	④ 公民館事業への青少年の参加促進
	中央公民館
活動内容	各公民館が、小・中・高校生を対象とした事業を学校休業日を利用して開催し、参加を促進する。既存の事業がマンネリにならないよう改善を加え、新規事業も企画・立案し、新規参加者が年々増えていくよう配慮する。わんぱくスクール全5回延べ70人、ラジオ体操開始・終了大会10団体・100人他を予定。今年度実績:わんぱくスクール延べ4回48人(前年度実績3回49人)、ラジオ体操開始大会12団体90人(同コロナ禍中止)、終了大会雨天中止(同10団体90人)、夏休み将棋教室30人(同49人)同囲碁教室8人(同13人)
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 依然として、コロナ禍により各事業が中止や規模縮小となっているものの、感染対策などを講じて今できることをやるというスタンスで取り組んだ。休日や夏・冬休みの小中学生を対象とした事業は、「将棋・囲碁教室」、「新春書初め」などのほか、地区公民館では「星空観望会」、「サケの放流事業」「カヌー体験教室」など特色ある事業に取り組んだ。しかし、「夏・冬まつり」など大人数の集まる事業は今年も中止せざるを得なかった。
課題等	今後もコロナ禍により計画に影響が出ると思われるが、青少年の参加促進を図るため、小中学生が興味を持つようなイベントや活動を工夫しながら企画する努力を継続する。 「わんぱくスクール」や「キッズカレッジ」、「たしる学舎」などの事業で実施した複数館の合同学習は、今後さらに必要となる。子どもにとって身近な存在の公民館を目指す。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	コロナ禍も3年目となり、新しいアイデアを考えながら参加者のニーズに応じてほしい。複数館合同の事業をどんどん取り入れてほしい。

重点施策点検・評価表

3-2-1

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
①	学校支援活動事業の推進
	生涯学習課
活動内容	市内の全小中学校を対象に、学校で必要とする活動と地域住民の知識と経験をマッチングさせ、地域の方々のボランティア派遣や地域の教育力を学校教育へ活用する等、地域ぐるみで子どもを育む環境整備を図るとともに、学校を核とした地域の活性化につなげる活動を支援する。今年度事業計画の地域協力者数を延べ、16,371人とする。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	令和5年度から全校導入される予定の「コミュニティ・スクール」について、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)に対する事業説明や協力要請を図ることで、円滑な導入に努める。
学識経験者等の意見	全ての小中学校にコミュニティ・スクールが導入されれば、地域の人も大きく関わっていくので、体制整備も含めて期待されるような活動になっていくと思う。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
②	家庭教育の充実
	生涯学習課
活動内容	家庭教育推進事業の一環として、市内幼稚園、保育園、小中学校を対象に「子育て講座(40講座)」を開催する。また、「おしゃべりひろばひだまり」は子育てサポーターと連携し、子育て中の親を対象に育児の悩みや不安の解消を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	「おしゃべりひろばひだまり」 ・新型コロナウイルス感染症の影響により開催延期したイベントもあったが、全12回開催できた。参加者は前年度の約3倍となる431名となった。 「子育て講座」 ・新型コロナウイルス感染症の影響により講座を中止する団体が多く、前年度比3団体減の37講座開講、参加者数は約8.4%減となる計1,542名。 「親育ち！家庭教育支援ネットワークづくり事業」 ・適応指導「おひとり教室」ふれあいお楽しみ会(ピザ作り、ボッチャ体験) …参加者13名、ボランティア4名 ・助産院イスキア菅原光子先生による孫育て講座…計3回実施、参加者計42名 ・学校・家庭・地域連携総合推進事業担当者スキルアップ研修会 「共生社会の形成に向けて～発達障害児の理解と支援を中心に～」…参加者50名 ・特別支援学級でのニュースポーツ等体験…計3回実施、参加者計30名 ・「Let'Go! 木育ひろば」…計8回実施、参加者計1,048名
学識経験者等の意見	おしゃべりひろばひだまりや「Let'Go! 木育ひろば」は感染対策として学校や屋外など広い場所で開催したことで、密を避けながら前年度より多数かつ、幅広い年齢の参加者に來ていただくことができた。また、スキルアップ研修会を後日録画視聴可能にしたところ好評だったため、次年度以降も多様な参加方法を検討していきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-2-2

推進目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する	担当課(館)
	③ 音楽療法士派遣事業	生涯学習課
活動内容	<p>継続事業として、市内用知見、保育園、小中学校からの派遣依頼を受け、自閉症気味な子や発達が気になる子、特別支援学級在籍児童に対し音楽療法を実施し、児童の情緒の安定を図る。 事業計画:全24回予定。</p>	
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/>目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/>目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>派遣要請のあった市内の小中学校の特別支援学級や低学年、気になる子がいる保育園児を対象に21回の派遣を実施した。(小学校13回、中学校4回、保育園4回) 学校の先生と音楽療法士が協力することで、児童生徒が様々な楽器に触れながら音楽を楽しむ、精神的な安定とコミュニケーション能力の向上に努めることができた。</p>	
課題等	<p>新型コロナウイルス感染拡大のため、市内小中学校の学年閉鎖等が相次ぎ、2月以降に開催を予定していた学校の一部が中止又は申請見送りとなった。 参加した児童生徒からのレポート率は高く、今後も多くの学校等に音楽療法士を派遣できるよう、事業を継続する。</p>	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	レポート率が高いので今後も継続してほしい。	
2	④ 青少年健全育成活動の充実	生涯学習課
	活動内容	<p>青少年健全育成推進方針を策定し、関係機関と連携を図りながらさまざまな活動を実施し、青少年健全育成に対する市民の意識高揚と青少年健全育成のための環境整備を図る。 「青少年を非行から守る市民のつどい」への参加動員目標数は、新型コロナウイルス感染症対策として人数制限を行い、100人とする。</p>
点検評価	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/>目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/>目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/>目標を大幅に下回る (80%未満)</p> <p>学校及び青少年関連団体・機関等による青少年問題協議会を開催し、青少年健全育成推進方針の策定や情報共有・事業連携を図った。 また、7月3日(土)中央公民館を会場に「青少年を非行から守る市民のつどい」を開催し、内閣総理大臣メッセージの伝達や、特別講話を実施し、青少年を非行や犯罪から守り、心身共に健やかに成長できる明るい社会づくり運動に努めた。参集者数95人。</p>	
課題等	<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況にもよるが、中央公民館会場の参加人数制限を遵守し、今後も、7月第1土曜日に「青少年を非行から守る市民のつどい」を開催したい。</p>	<p>取組の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	地道な活動で大変であると思うが、青少年の健全育成に関わる大事なものであるため、内容を検討しながら今後も継続してほしい。	

重点施策点検・評価表

3-2-3

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	⑤ 少年相談センターの活動の充実
	生涯学習課
活動内容	青少年が抱える悩みや問題を解決するための相談活動や指導員による巡回活動のほか、関係機関・団体・学校等と連携したさまざまな活動を行うことにより、青少年の健全育成を図る。 少年指導員による年間活動数を延べ200人とする。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 青少年や保護者が抱える様々な問題に対応できるよう、電話や面接による相談活動を実施するとともに、教育研究所・おおとり教室・子ども課等の青少年関連機関との連携を図りながら、問題解決に努めている。また、少年指導員28名により、市内全コンビニ店への子どもの見守り依頼や、街頭パトロール、生徒指導主事協議会との合同巡視などの活動を通して青少年の健全育成に努めた。年間活動数延べ195人。
課題等	コロナ禍の影響もあり、令和2年度は延べ242件と過去最も多い相談件数であったが、今年度は更に多く、年間287件の相談件数となっている。現状では増加傾向にあることから、今後も少年相談センター業務は二人体制を継続する。
学識経験者等の意見	相談件数も増え、何回も相談するケースも今の時代は当然出てくる。また、なかなか解決も難しい。相談員の労力も相当あるが、これからも頑張ってもらいたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	⑥ 関係機関への支援
	生涯学習課
活動内容	青少年育成大館市民会議、大館市子ども会育成連合会、大館地区少年保護育成委員会など、青少年健全育成関係団体に活動費の補助や活動支援を行うことにより、地域の青少年健全育成活動の充実を図る。 市補助金: 青少年育成大館市民会議 160千円 大館市子ども会育成連合会 255千円 大館市少年保護育成委員会 124千円
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 市の予算の範囲内での補助金交付を行っている。 青少年健全育成活動や社会教育活動に関わる上記団体に対して活動費の補助を行っており、青少年育成大館市民会議総会や青少年育成推進事業シンポジウムの開催など、新型コロナウイルスの感染予防対策をしながら各活動及び事務面において支援している。
課題等	会員の高齢化が進み、また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりこれまでと同様の活動が難しくなっているが、今後も各団体との連絡・連携を密にし、活動費補助のほか、それぞれの活動及び事務面での行政支援に努める。
学識経験者等の意見	補助金をよりどころにしている団体もあるので、今後も継続して支援してほしい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-2-4

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	⑦ 社会教育委員の活動の充実
	生涯学習課
活動内容	生涯学習推進計画や社会教育推進計画等、社会教育推進のための基本方針や重点施策を策定し、教育委員会点検・評価に対する必要な意見・提言を行い、社会教育活動の推進を図る。また、学校訪問・研修会等の開催を周知し、40人以上(延べ)の参加を目指す。
点検評価	<p>■目標を上回る □目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>北教育事務所主催の学校訪問は9回、市教研主催の授業見学は7回開催された。北鹿地区社会教育委員研修会は今年度の当番市として、10月26日に北鹿3市1町1村から計35名が参加し開催した。講師を本市越前委員に依頼し、社会教育委員の委嘱を受けて、これまでの活動及び今後の活動への意見などを拝聴した後グループトークを行い成功裏に終えることができた。新たな取り組みとした社会教育施設への訪問は12月17日に矢立などの公民館のほか市地域おこし協力隊が活動している「としよ木漏れ日」も訪問した。</p> <p>そのほか、当課主催の講座や研修会など計16回の案内に延べ58人が参加し、積極的に活動することができた。学校訪問では各委員から各校の取組みへの意見、助言のほか推薦母体からの協力の申し出など、学校を取り巻く環境の向上に対する熱意を伝えることができた。各種活動からの経験を生かし、社会教育・生涯学習の重点施策や事務事業の点検・評価について協議し、必要な提言を行っている。</p> <p>令和2年度 訪問等のべ参加人数 6人(3回) 令和3年度 訪問等のべ参加人数58人(16回)</p>
課題等	<p>地区公民館への訪問活動を定着させ、ふるさとキャリア教育や学校と地域のつながりの中に社会教育委員として関わり、市民版ふるさとキャリア教育の推進に向け、見える活動を展開していきたい。また活動を通して得たものを、第7次市社会教育中期計画の実現に向けて助言していく。</p> <p>取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	令和3年度は目標を上回っており効果が上がるような取組みを行っていたと思うので、令和4年度は3年度をベースとしてさらにアップさせてほしい。
	⑧ 生涯学習推進体制の充実
	生涯学習課
活動内容	生涯学習に関する市民の意見・要望を反映させるため、関係相互団体と連携し、生涯学習協議会において協議するとともに、地域において学習活動を奨励するため、生涯学習奨励員の自己研鑽と活動の充実を図り、社会教育主事を養成しながらその組織化を目指す。
点検評価	<p>□目標を上回る ■目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)</p> <p>生涯学習推進協議会では、7月に幹事会(書面協議)、8月19日に協議会を開催した。令和3年度生涯学習推進計画、社会教育推進計画を案件とし、各委員からさまざまな意見等が出された。</p> <p>また、生涯学習奨励員については、地元イベントへの積極的な参加、協力等の個人活動の他、総会及び自主研修会の開催、生涯学習フェスティバルへの参加及び協力、被災地支援・交流事業への参加、県及び北鹿地区の総会、研修会への参加などの活動を行った。</p>
課題等	<p>「市民版ふるさとキャリア教育」を具現化する位置づけであるポータルサイト「大館学び大学」が11月3日にプレオープンし、4年度にグランドオープンとなる。生涯学習推進本部としてさらなる庁内連携を進めると共に、今年度の協議会での委員の意見を反映できるようにしていきたい。</p> <p>取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度</p>
学識経験者等の意見	大館学び大学やふるさとキャリア教育も周知されて来ているので、今後ますます生涯学習奨励員も含めて体制の充実が図られていくと思う。

重点施策点検・評価表

3-2-5

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	⑨ 高齢者社会に対応した生涯学習の充実
	中央公民館
活動内容	公民館サークル活動等の学習成果を生かす場の拡充や高齢者の豊かな体験・知識・技術・特技を生かす場を充実させるため、子どもとの世代間交流も行う。中央公民館老壮大学110人全9回、各地区公民館高齢者学級開催(11館)。 今年度実績:老壮大学 全10回学生116人(前年度全7回129人) ほか全地区公民館(11館)でも高齢者学級を実施 新春書初め交流会 16人(同18人)中央公民館 " 25人(同33人)比内公民館 " 中止(同 3人)田代公民館
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 事業対象者の高齢化が進み、物故者や身内の看病などでやめる人も多くなってきたことから、比較的若年層の中高年勤労者獲得に向け市民の目に留まるところに情報発信をしなければならぬ。健康寿命の向上や生き生きとした生活を過ごすための魅力ある講座も提供が必要となる。なにより、参加者が楽しいと思える内容の事業展開が必要。
課題等	超高齢社会に向かって、益々高齢者が増加する現状とは対照的に、高齢者事業の参加者は毎年減少している。昨年度横ばいであった老壮大学入学者は、今年度また減少に転じた。近年は60歳を過ぎても就労している方が多いことも理由ではあるが、健康寿命の向上や生き生きとした生活を過ごすための魅力ある講座も提供が必要となる。また、中高年勤労者を対象とした新規事業も必要と感じる。
学識経験者等の意見	参加者数も大事であるが、減少は止むを得ない面がある。参加者の満足度に目を向けて、講座内容の充実に取り組んでもらいたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	⑩ 大館版「リカレント教育」プログラムの構築
	生涯学習課
活動内容	人生100年時代に対応した学び直しに向けた環境作りを推進する。(地方創生推進交付金事業)令和2年度から4年度までの3年間事業(毎年申請) ①ポータルサイト構築、②大館教育のブランド化・産業化に関わるブランディング及びプロモーション業務、③講座開設環境整備業務
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 本事業の基軸となる①ポータルサイト構築については、11月3日にポータルサイト「大館学び大学」をプレオープンした。オリジナル講座(11講座17回117人受講)を開催した。②大館教育関連については、新型コロナにより教育関係者の訪問の縮小傾向にあり、教育ツーリズムの実績は出せなかったが、10月29~30日開催の全国ふるさとキャリア教育全国協議会大館大会開催では市民が大館教育を体験する場を設けると共に、ウェブ配信視聴を試みるなど、ウィズコロナにも対応した参加形式を試行した。③講座開催及びレンタル機材の設置場所として大館学び大学キャンパスの環境整備を行った。
課題等	地方創生推進交付金事業としては、3年目(最終年度)となる。 4年度としては、①ポータルサイト講座管理運営業務委託、②大館教育のブランド化・産業化業務、③講座開設拠点整備、④ポータルサイト保守管理業務の4業務をNPO法人へ委託する予定であり、4月のグランドオープンに向けたオリジナル講座などを準備中である。
学識経験者等の意見	新聞にも掲載されていたが、講座実施後、市民からの声を拾うと同時にニーズも捉えてほしい。今後の展開に期待している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-2-6

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する	担当課(館)	
	① 障害者のための生涯学習の推進	生涯学習課	
	活動内容	障害者の生涯学習の場として社会教育施設を活用した講座等を実施するとともに、持続可能な活動の実践研究を行う。 講座回数 10回予定	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80%未満) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 文部科学省より事業1年目として受託し、感染防止対策を講じながら、生涯学習連携協議会を3回、講座を5回開催した。 7月6日に第1回生涯学習連携協議会を立ち上げ委員14名を委嘱、委員長に山田委員、副委員長に仲谷委員を選任した。 11月7日「自然の家を満喫しよう!」に28名、11月28日「ボランティア養成講座」に高校生・大学生を主に29名、12月11日「おうちパン」に14名、12月19日「未来へ歌を歌おう〜ダックスムーンコンサート〜」に67名、1月16日「音楽で遊ぼう」に32名の参加、1月30日比内支援学校青年学級はコロナ感染拡大に伴い中止した。今回はコロナ感染拡大の影響により講座の回数を増やすことができなかった。 講座開催は予定数に届かなかったものの、計画した開催講座の様子や参加者の声、協議会での委員の意見を集約した「障害者の生涯学習報告書」を作成した。	
	課題等	今年度の成果や参加者の声を参考に社会教育施設での講座、また、人材育成のためボランティア養成講座を継続開催する。 障害者のインターネット環境を把握し、会場参加とオンライン参加を組み合わせ合わせたハイブリット型講座の必要性を検証する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	少年自然の家や社会教育施設を活用することはすごく大事である。事務局は大変となるが、様々な関係機関を巻き込んでいくことができれば、いいものが出来上がってくると思う。	
			生涯学習課
	活動内容		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標どおり (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80%未満) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等		取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見			

重点施策点検・評価表

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
3	高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する
	担当課(館)
	① 高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア養成講座の実施
	中央公民館
活動内容	高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。「高校生まちづくり会議HACHI」の活動を継続して実施するとともに、昨年は活動事例を紹介したり、他団体とのコラボした事業も行われたので、今後も取り組んでいきたい。また、地元の大学ともタイアップした事業を大学側のスケジュールを見ながら進めていく。活動回数15回120人を目標とする。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	「HACHI」の新規メンバーは14人。参加校はすべて鳳鳴高校生となった。昨年度はコロナの影響でできなかった「ハチウイン」を、参加人数制限など対策を万全にし開催することができた。「おおだて巡り」では高校生の希望により市内5施設を巡ったほか、市の出前講座「救命講座」を受講した。生涯学習フェスティバルでは「児童との交流コーナー」を企画したが、コロナの影響で直前に中止となり活動PRのみを行った。地元大学とのタイアップ事業は、いまだコロナの影響で進めることができなかった。 今年度実績:活動回数 延べ16回169人(前年度10回88人)
学識経験者等の意見	「HACHI」のメンバーは26人となったが、3年生が卒業し現在は19人である。ただし、会議などの話し合い時は概ね10人前後しか集まらない。さらにメンバーは鳳鳴高校生のためのため、他の2校の生徒に呼び掛けるとともに参加を促したい。また、コロナ禍によりできなかった大学との連携については、社会人となった「HACHI」のOBを活用する方法も検討しなければならない。
	高校生や大学生の参加を得るため、興味関心のある内容や継続できる活動への支援に努めてほしい。
取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

3-4-1

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する 担当課(館)
① 「生涯学習フェスティバル」の実施 生涯学習課	
活動内容	社会教育施設・各種機関・団体等に協賛・参加を呼びかけ、生涯学習に関する実践活動の発表の場や理解する機会を提供し、市民一人一人の生涯学習への意欲を高める。メイン開催日(2日間)の会場となる中央公民館の来場者数目標を2,000人とする。メイン開催日の中央公民館会場では木育キャラバンを同時開催した。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 9月、10月を生涯学習推進月間として栗盛記念図書館や北地区コミュニティセンターなど、各機関、団体等による協賛イベントが開催された。延べ参加・入場者数は5,081人。9月25日(土)、26日(日)の中央公民館会場では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、急遽、体験型から展示主体に内容を変更、又は一部中止となったが、木育キャラバンをはじめ、中央公民館サークル協議会、大館桂桜高等学校、大館市発明協会、教育研究所等による作品展示を主体として鑑賞イベントを開催し、生涯学習の実践活動発表の機会とした。来館者数2,112人。
課題等	新型コロナウイルス感染拡大の流れが予想できず、体験型や食堂開催などの通常開催は難しいと思われる。今後の状況次第ではあるが、感染拡大の可能性がある場合は、始めから対応可能な展示主体等で開催を検討する必要がある。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	発表の機会はすごく大事である。2年間コロナ禍の中試行錯誤しながら実施していて、その中で得た財産もあると思う。これからもその機会を失わないよう続けてほしい。
② 「大学公開講座」の実施 生涯学習課	
活動内容	市民の多様化・高度化した学習要望に応えるため、地域の高等教育機関との連携による公開講座を2回開催する。 実施校:秋田職業能力開発短期大学校、秋田看護福祉大学 各校1回ずつ
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 秋田看護福祉大学の「大学公開講座」は、医療系大学の施設であることも考慮し、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として中止した。秋田職業能力開発短期大学校の「大学校公開市民講座」は、10月4日、6日、8日に開催し、同大学准教授、講師陣から福祉と住生活、機械検査、人工知能等をテーマに講義を実施した。受講者数延べ37人。
課題等	秋田看護福祉大学の「大学公開講座」について、現況では大学を訪れての公開講座は難しく、新たな開催方法を検討する必要がある。秋田職業能力開発短期大学校の「大学校公開講座」は、全体的に高度な内容となる傾向にあるが、今後も大学校による専門分野の講座という特色を生かし、継続していきたい。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	今後、秋田看護福祉大学と協議を行い、令和4年度に開催できるよう期待したい。

重点施策点検・評価表

3-4-2

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する	担当課(館)	
	③ 地域活動団体への支援	生涯学習課	
	活動内容	大館市連合婦人会等、地域活動団体への補助・活動支援を行うことにより、地域活動の活性化を図る。 市補助金 大館市連合婦人会 248千円 Odate Marching Band TEDAOLE 50千円 おおだてロボット人材育成コンソーシアム 100千円	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 市の予算の範囲内での補助金交付を行っている。各団体とも会員の確保に努め、新型コロナウイルス感染症感染拡大対策を工夫しながら継続した活動を実施し、衰退しないよう努めている。TEDAOLEについては、新型コロナによる東北大会への出場自粛により遠征費に未執行が生じたことから、補助金額変更となりし一部返還とした。	
	課題等	市補助金による活動費支援を継続しており、令和3年度の補助金額は前年と同額を維持している。おおだてロボット人材育成コンソーシアムは地元での活動に注力し、児童生徒や学生といった人材育成活動を実施している。大館市連合婦人会はメンバーの高齢化や働き方の変化等による会員減少がみられ、若年層の団体加入による若返り化が課題となっている。TEDAOLEは少子化の影響により会員数の減少がみられ増員が課題となっていることに加え、大会の中止等、コロナ禍により活動の機会が得られないという状況であったが、次の活動機会に備え基盤づくりに努めている。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	補助金の目的である活動ができなかったため、返還が生じたことは理解できるが、今後も支援を継続してほしい。	
	④ 地区住民や関係団体との連携強化	中央公民館	
	活動内容	地域コミュニティ活動を支えるため、関係団体・関係機関と情報交換を行い、さまざまな角度から支援を行う。また、その活動の様子を関係団体等に紹介することで連携を強化する。特に東日本大震災以降は避難所としての機能の強化がより一層期待され、地区住民との連携強化が不可欠であるため、より良い協力関係を築いていく。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 地区公民館では、運動会やスポーツ大会、文化祭などの行事を、地元町内会や婦人会などと協力して行っているほか、他事業にも地域の団体の意見を反映させている。また、消防署や警察署、危機管理課の出前講座を活用した防災、防犯講座に地域ぐるみで取り組むなどして、関係機関とも連携を図っている。今年度も、特にコロナ禍による事業の開催可否の検討などもあり意見調整に努めた。 二井田公民館を主会場に行われた市の総合防災訓練において、各公民館職員が参加し災害時のコロナ対策を考慮した対応を訓練した。今後、各地区において住民自治会などとの研修会につなげることとなる。	
	課題等	公民館は、地域コミュニティの拠点であり、地域活動の支援はもちろんのこと、災害時の避難所として位置付けられている。少ない職員数で避難所として機能するためには、地域住民との連携は欠くことができない。今後、危機管理課の示す有事における地区災害対策本部としての役割を想定した事業を実施し、より良い協力関係を築くよう努力していきたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	防災訓練に大学生が参加しているように、連携強化を期待できる取組を工夫して企画してもらいたい。地区公民館の活性化が中央公民館の活性化につながっていくと思われるので、地区公民館を応援する体制が必要。タイムリーな事業を行っていく必要があるのではないかと。		

重点施策点検・評価表

3-4-3

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する	担当課(館)	
	⑤ 地域コミュニティづくりに向けた支援体制の強化		中央公民館
	活動内容	地域のコミュニティ活動の拠点として、地区公民館の改築は一巡した。今後は分館等整備の進んでいない施設への環境整備を進めていく。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等	地区公民館の改築は一巡したが、今後の維持管理で大規模修繕や改修が必要となる館もある。また、ほとんどの地区公民館分館は老朽化しており、必要不可欠なものの修繕で対処しているが、地元の意見・要望を聞きながら、計画的に整備を進めていきたい。今年度は中央公民館、比内公民館のエアコン更新、中央公民館、比内公民館、本郷分館の畳表替えなどを行ったほか、年次計画に基づきストーブ、AEDなど備品の更新を実施することで側面からの支援も行った。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	地区公民館分館は15施設あるが、老朽施設が多く、計画的に整備しても長期に渡ることからその間に突発的な修繕が多々発生する。また、建物以外でも、ストーブやエアコンの老朽化が進み故障の都度修繕で対応しているが、計画的に更新する必要がある。地区住民の生涯学習の拠点として機能するために限りある財源の中で優先順位を適切に判断し、また、予算確保の努力を継続する。	
	学識経験者等の意見	地域住民のニーズや考えも大事だが、財源のこともあり難しい問題だと思う。長期的視野に立って、今ある施設を大切に使うように工夫して頑張ってもらいたい。	
	⑥ 公民館事業の充実と参加促進		中央公民館
	活動内容	公民館の各種事業の内容を充実させ、魅力ある講座を開催する。さらに参加者の動向を見ながらレベルアップを図ることで、活発な公民館活動を展開する。また、既存の事業で参加者の少ない事業でも楽しみに来ている高齢者がいるため、存続できるようにしていきたい。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
課題等	各事業の実施後、参加者から事業内容に関する意見や要望などアンケートを取り集約している。地区公民館では、町内会や関係団体との会合等で常に意見要望を出してもらい今後の事業に反映するように努めている。今年度も、コロナ禍による事業縮小など制約を受けながらも、地区公民館では、二井田公民館の「地区の過去を知る映像観賞会」の新規開催や恒例の田代公民館米代川川下りカヌー体験をドローン撮影してYouTube公開するなど工夫を凝らして事業を展開した。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
学識経験者等の意見	地域住民のニーズを把握しながら事業の見直し・改善を進める必要がある。そのため、必要に応じNPO団体や県・市の出前講座、企業のCRS活動(社会貢献)を活用して事業を充実させる。また、矢立公民館と釈迦内公民館による地区歴史研究会をつないだ羽州街道勉強会のように複数公民館共同による事業をさらに進め、地域を超えた新たな人間関係を形成したい。		
学識経験者等の意見	住民のニーズを把握しながら、いい事業は各公民館で共有しながら実施していくのが良いのではないか。		

重点施策点検・評価表

3-4-4

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する
	担当課(館)
	⑦ 放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業並びにわくわく土曜教室推進事業の実施
	生涯学習課
活動内容	放課後児童を対象として、「安全・安心」を第一に充実した放課後を過ごせる場を提供する。さらに、土曜日等の支援として体験活動や学習機会を提供する。 月1回の定例会を実施する。 各施設の横のつながりを図るため、クラブ対抗の大会(ドッジボール、カルタ)を開催する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、異学年交流を避けるため各児童クラブにおいて行事やイベントの開催を自粛することとなったが、感染症対策に留意しながら工夫して季節の行事やイベントを開催し、児童に対し放課後の体験活動を提供することができた。 直営全体でのドッジボール大会については、感染症対策として短縮日程で実施したが、保護者より好評を得ることができた。カルタ大会については、密を避ける事が難しいとの考えから、各クラブ代表者を集めての本選実施は叶わず、各クラブ内での実施となった。 毎月1回の定例会については感染症対策を講じて開催し、昨年度は1回のみで開催だった研修会も、毎年支援員より好評を頂いている外部講師を招き2回実施することができた。
課題等	陽性者が発生した際ややむを得ず休館する際、迅速に対応し、児童の安全を図るとともに、保護者が安心して児童を預けられるよう、定例会等において各クラブと情報共有に努め、対応や周知方法についても協議・検討していく必要がある。 国の新・放課後子ども総合プランによる高学年児童の受入れについては、施設設備や面積要件、三密を避ける対策等クリアすべき事案を整理しつつ、児童数の減少とも結びつけながら図っていく必要がある。
学識経験者等の意見	新型コロナウイルスの感染拡大の厳しい中で、放課後児童クラブの運営はよくやってきている。大変ではあるが、これからも継続してほしい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	⑧ 「大館ふるさとカルタ」の普及とカルタ大会の開催
	生涯学習課
活動内容	カルタを普及させるとともに、カルタ大会を開催することにより、カルタの読み札や絵札を通して、ふるさとの歴史を学び、郷土愛を育む機会を作る。カルタ大会の運営に高校生ボランティア(目標5人)を募り、審判・読み手の育成も図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 今年度の大会は、令和元年度以前と同様、各児童クラブで予選を行い、中央公民館で代表者による本選を行う予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により本選を中止し、昨年度と同様にクラブごとの開催までと変更することとなった。 各クラブ内での本選の開催の有無は各クラブの判断に委ねたところ、2クラブが本選を行った。その他、高学年も含めたカルタ交流会やお楽しみ会でのイベントとしてカルタで遊ぶなど、大会終了後においても各クラブでは児童が大館ふるさとカルタで遊ぶ姿が見られ、普及の一助を担えたものとする。
課題等	放課後児童クラブ登録児童を対象としたカルタ大会を今後も継続して開催していくと共に、大館ふるさとカルタ普及に向けた新たな取り組みを見い出したい。
学識経験者等の意見	カルタ大会は非常に良い内容、活動であると思うので、今後も普及活動も含め大会を継続してほしい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-4-5

推進目標						
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援					
重点施策						
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する	担当課(館)				
	⑨ 木育事業の実施	生涯学習課				
	活動内容	移動型木育ひろばを展開する。女性センターの木育空間を利用した乳幼児から高齢者までの世代間交流の機会創出を図る。				
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)				
		令和2年度に引き続き移動型木育ひろば「Let'Go! 木育ひろば」を保育園、小学校、支援学校など8か所で計8回実施し、幼児から高齢者まで延べ1,048名が木のおもちゃに触れながら楽しい時間を過ごした。 また、3回目となった移動型おもちゃ美術館「木育キャラバン」は、コロナ感染拡大の影響により展示品の木のおもちゃの見学は自由としたが、木のおもちゃに触れるのは感染対策強化のため整理券を配布し、人数と時間制限を設けた。2日間で延べ2,112名の来場があり、多くの子育て中の親子が全国各地の選りすぐりの木のおもちゃと出会い、木の感触や香りを感じながら楽しい時間を過ごし、自然環境の保全や木材の良さを学ぶことができた。				
	課題等	より多くの市民が木に触れる機会を創出するため、木育イベントやワークショップを開催し、木の良さや自然環境の保全を周知していく。 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>取組の方向性</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討	<input type="checkbox"/> 単年度
	取組の方向性					
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続					
	<input type="checkbox"/> 廃止検討					
	<input type="checkbox"/> 単年度					
学識経験者等の意見	子どもが小さい時に木に触れ、木で遊んだ体験は、大人になっても木や自然に目を向けるようになる。そのような長期的方向性が見えてくるといいと思う。					
		生涯学習課				
活動内容						
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)					
課題等	<table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>取組の方向性</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討	<input type="checkbox"/> 単年度	
取組の方向性						
<input type="checkbox"/> 継続						
<input type="checkbox"/> 廃止検討						
<input type="checkbox"/> 単年度						
学識経験者等の意見						

重点施策点検・評価表

3-5

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
5	「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める	担当課(館)	
	① 図書館運営に関する進行管理	生涯学習課	
	活動内容	指定管理制度による図書館運営について、指定管理者の提案書に基づく適正な運営に対する必要な支援と指導を行い、図書館サービスの向上を図り、「生涯読書」活動を推進する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 大館市図書館協議会からの提言に沿いながら指定管理者との協議を行い、ゴールデンウィーク等の大型連休前には貸出期間を延長するなど、利用者が利用しやすい図書館となるようサービス向上を図りながら「生涯読書」活動を推進している。 新型コロナウイルス感染症拡大対策による閉館はなかったが、市内の感染発生状況に留意しつつ感染防止対策を講じながら、恒例の読み聞かせ会、図書館ボランティアの育成、夜の図書館開放等の多様なイベントを開催し、来館者が親しみやすい図書館となり利用者の増加につながるよう努めている。 館内のセキュリティについては、防犯カメラ映像のモニター監視を継続して行っており、入館者数カウンター(センサー)による来館者数も把握している。 環境面では館内席数を制限し、空気清浄機の設置や来館者が書籍殺菌機を使用できるように設置するほか、定期的な消毒を行うことで館内環境維持に努めている。	
	課題等	少子高齢、人口減少、新型コロナウイルス感染症対策等社会情勢の変化を踏まえながら、利用者サービスや各種事業の実施、情報発信を充実させ、さらに魅力ある市民に親しまれる図書館運営ができるよう、指定管理者と十分協議しながら支援していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	図書館は安心できる居場所、空間というイメージがある。安心、安全も考えて運営してほしい。	
	活動内容		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
	課題等	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
	学識経験者等の意見		

重点施策点検・評価表

3-6-1

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
6	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する
	担当課(館)
	生涯学習課
① 芸術文化団体への支援	
活動内容	大館市芸術文化連盟や比内芸術文化協会、田代地区芸術文化協会等、芸術文化団体に対し補助を行うことにより、地域の伝統文化や伝統芸能の活動を支援する。 市補助金：大館市芸術文化連盟 50千円 比内芸術文化協会 110千円 田代地区芸術文化協会 110千円
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 市の予算の範囲内での補助金交付を行っている。 令和3年度の補助金額は前年同額を維持しているが、大館市芸術文化連盟についてはコロナ禍により補助金対象事業の芸術文化祭を中止(文化表彰は実施)したことにより予算未執行で過大な余剰金が発生したことから、補助金額の変更による一部返還措置を実施した。 他2団体については、規模縮小等コロナ対策と活動内容を工夫しながら補助金を有効に活用し運営に努めている。
課題等	高齢化による会員の減少という共通の課題に加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により地域の芸術文化発表の場を設けることが困難な状況となっているが、各団体とも地域の伝統文化、芸能の保存、承継に積極的に取り組んでおり、今後も衰退しないように支援を継続していく。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	発表の場、機会があるように今年も期待したい。
② 芸術文化に関する事業の積極的な周知・活用	
	生涯学習課
活動内容	文化庁などが所管する各種事業等を関係団体や文化施設・学校等に積極的に周知、活用することにより、地域における芸術文化体験の機会を提供する。 市内小中学校(全25校)へ周知し、巡回公演4校以上で実施を目指す。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 市内芸術文化連盟・協会等に対する秋田県芸術文化振興基金やニッセイ財団等による助成事業の周知のほか、小中学校には子どもたちが質の高い芸術活動を身近に感じられる機会として文化庁「文化芸術による子供の育成事業(巡回公演事業・芸術家の派遣事業)」「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」等の周知や取りまとめを行った。令和3年度は新型コロナの影響もあったが3校が実施。令和4年度は2校が申請している。さらに、4年連続での開催となった文化庁補助の令和3年度伝統文化親子教室事業(地域展開型)「大館市伝統文化親子教室事業・書道と生け花とお茶の祭典」は大変好評であった。
課題等	「あきた子どもの文化体験促進事業」や「秋田県青少年劇場」など、学校等が活用しやすい事業について、民間、行政を問わず情報提供に努めていく。文化庁補助事業は、5年目として関係団体と連携しながら実施予定。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	いろいろな事業があるので各校には有効活用してほしい。

重点施策点検・評価表

3-6-2

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
6	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する
	担当課(館)
	生涯学習課
③ 郷土芸能保存協会等との協働	
活動内容	子どもから大人まで参加できる大館市伝統文化親子教室事業「書道と生け花とお茶の祭典」を開催し、伝統芸能の体験の場を作るとともに、それらを通じさまざまな形の交流を図る。また、教職員を対象とした伝統芸能の体験の場を設ける。 伝統文化親子教室:全体の来場者目標数 300人 教職員のための体験: 〃 各20人
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 文化庁より4年目の事業を受託し、感染防止対策を講じながら、9月12日に「大館市伝統文化親子教室～書道と生け花とお茶の祭典～」、8月3日と1月7日に「教職員のための体験講座」を開催した。 9月12日の大館桂桜高校芸術部書道班の5名の部員による書道パフォーマンスに141名が鑑賞、書道パフォーマンス体験には小中学生が4名、生け花体験に20名、お茶の体験に89名の参加があった。木の板に書を書く体験や組立て式茶室の見学には多くの市民が訪れた。出演者や講師等を含めた参加総数は168名となり、コロナ禍で様々なイベントが中止となる中、開催を歓迎する声が多く好評を博した。教職員のための体験講座では、8月3日の書道に17名、生け花に26名、お茶に26名、1月7日の大館ばやしの手踊りと大文字踊りには12名が参加し、伝統文化の学び直しと郷土芸能への理解を深めた。
課題等	各地区の郷土芸能を存続させるためには、学校との連携は欠かせないものになってきている。小学校では地区の郷土芸能を学ぶ正課クラブは10校、日本の伝統文化を学ぶクラブは4校あり、中学校では郷土芸能を4校、伝統文化を1校が学ぶ機会を設けている。地区によっては中学校卒業後には伝承される側から伝承する側に回り指導する高校生も出てきた。今後はそれらを発表する場を設けることで、親世代が郷土芸能に触れる機会創出を考えていきたい。
学識経験者等の意見	このような機会がないとなかなか関わるできない貴重な活動・経験である。昨年度の経験を生かし今後も継続してほしい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
④ 新たな芸術文化鑑賞の機会の提供	
	生涯学習課
活動内容	ほくしか鹿鳴ホールの自主事業と、さらなる鑑賞の機会の充実を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 指定管理者が自主事業の中にカルチャースクールを新たに追加し、10~12月に生け花教室を開催した。単発講座の計6回開催したが、参加延べ人数は39人、そのほとんどがリピーターであった。継続を希望する声があったことから、来年度も継続していく予定である。 また、開催周知や参加募集の新たな情報発信の方法として、リカレント教育事業のポータルサイト「大館学び大学」を活用した。
課題等	情報発信の方法に、今後もポータルサイト「大館学び大学」を継続して活用し、新たな年齢層の利用を掘り起こしていく。また、集客するイベント開催のほか、ネット環境を整備することでウィズコロナにおける利用しやすい環境を整備していくことが課題である。
学識経験者等の意見	リピーターがいるということは非常にいいことである。今後もそのような人が1人でも増えるように頑張ってもらいたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

4 - 1

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
1	大館の歴史と文化を学ぶ機会を提供し、市民の誇りと自信を醸成する
	担当課（館）
	① 企画（特別）展の開催とホームページを活用した効果的な情報発信
	歴史文化課
活動内容	大館の歴史や自然及び文化財について関心を高めてもらうため企画展を開催し、ホームページ、ツイッター、フェイスブック等をツールとして、リアルタイムに情報発信していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） コロナ感染が第5波、第6波と発生し、令和2年度に引き続き人々の移動が制限される状況が続く中、博物館や鳥潟会館などの施設情報・天然記念物・イベントなどHPの更新や、ツイッター、フェイスブックなどを積極的に活用し、情報発信を行った。 また、風穴館のYou tube動画や、ニホンザリガニの動画もリアルタイムで発信し関心を高めた。博物館の企画展で郷土の画家の作品展を開催して多くの方にご来館いただいた。今後もニーズに合わせて企画していきたい。
課題等	コロナ感染の収束がまだまだ見通せない状況が続いているが、各施設の情報や企画展について、HP、ツイッター、フェイスブック等のSNSにより幅広くPRし、タイムリーな情報発信に努める。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	宣伝効果が効いている印象を受けていて、今後定着していきたく感じている。有効な発信手段なので、頑張ってください。
	② 学術的講座等の開催
	歴史文化課
活動内容	大館郷土博物館等における学術的講座や、発明クラブやわくわくサイエンス、出前講座など、関係課や関係団体と連携しながらニーズに合わせた学びの機会を提供していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 出前講座は4回実施し、子ども科学教室「わくわくサイエンス」は、定員数を抑え感染症対策を施して8回実施した。学術的講座は、今年度は北鹿地方の市町村が連携して、ほくろく文化財オンラインツアーを4回（8講座）、北鹿地域の自然や歴史などをテーマとした「ほくろく博物館講座」を2回（9講座）開催した。 これらの講座は感染防止対策のため、ZOOMウェビナーによるオンライン形式と会場への参集による併用方式で開催した。講師は大館・小坂・鹿角・北秋田の学芸員のほか県立博物館等が務めた。 企画展は、「端午の節句展」や「戸嶋靖昌 恩師と友人たち展」、「松村六也展」など6回開催した。
課題等	北鹿地域が連携して実施したオンライン講座は、運営面では事前にリハーサルを行ったが、当日通信の不具合などもあったので今後は問題点を整理しスムーズに進めたい。また講座の内容がマンネリにならないように検討していく必要がある。 オンラインでの講座は、自宅等で気軽に視聴できるので、情報発信による周知をはかり、参加者を増やしていきたい。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	広域的な連携は、今年が初めてということですのですごく良いと感じる。専門的な知識を求めるのは大変なことと思う。共催している他の自治体と悩みを共有して、より良いものを目指してほしい。

重点施策点検・評価表

4 - 2

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
2	郷土の伝統文化を継承・普及する活動を支援する
	担当課（館）
	① 大館市郷土芸能保存協会、大館市文化財保護協会と連携した事業の推進
	歴史文化課
活動内容	大館市郷土芸能保存協会に加盟する団体の郷土芸能の記録保存と、継承や公開の機会を支援する。また、市内に存在する文化財の公開や保護の活動をしている大館市文化財保護協会の事業を支援する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 大館市郷土芸能保存協会加盟団体は、桜祭りの中止などにより発表する機会を得ることが難しかった。 例年行ってきた大館市文化財保護協会との共催による文化財展覧会や伝統文化親子教室での伝統芸能の発表などは、コロナ禍の影響により昨年度に引き続き実施できなかった。
課題等	両団体とも高齢化が進み、独自の事業を継続することが難しい状況が続いている。地域の郷土芸能を継承するため、小中学校等での活動の支援を継続していく必要がある。また、郷土芸能の記録保存について検討する段階にあると思われる。
学識経験者等の意見	郷土芸能を発表しようと思ってもやれないというのは大変なことと思う。発表を実施していかなければ郷土芸能の伝承は難しいし、現状維持するのも大変なこと。また、記録の保存も大切。県内の良いところがあれば真似してほしい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）
課題等	
学識経験者等の意見	
	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

4-3-1

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える
	担当課（館）
	① ニホンザリガニの生息地再生と増殖
	歴史文化課
活動内容	天然記念物「ザリガニ生息地」の再生を目指す。今年度は増殖事業の5年目を迎え、ニホンザリガニの増殖技術が更に向上するよう関係者と連携・情報交換をしていく。一昨年度に完成した人工生息地における定着状況や生息環境について丁寧にモニタリングをして対処していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 天然記念物を保存する気運を醸成するため、大館郷土博物館と男鹿水族館での飼育展示を継続し、教育普及に努めた。 令和元年度に創出した第1人工生息地で継続しているモニタリング調査で30匹前後の生息が確認されており、ニホンザリガニの生息環境として整いつつあると考えられる。また、令和4年度以降に予定している第2人工生息地の造成工事に向けて測量事業を行った。
課題等	人工生息地での生育を確認しているものの、増殖技術はまだ確立されていないので、専門家の協力を得ながら引き続き研究していく。第1人工生息地は、安定して生息できるよう適宜生育環境の確認が必要である。また、第2人工生息地の整備を令和4年度から3か年で計画しており、湧水量の確保など課題を解決しながら進めていく。
学識経験者等の意見	天然記念物の保護は大変難しい事と思う。市民に理解してもらい応援を得られるよう、情報発信しながら頑張してほしい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	② 市内遺跡発掘調査及び記録・出土品整理
	歴史文化課
活動内容	大館城跡発掘調査による出土品について、整理、記録、保存をする。また官民の開発事業や住宅建築等に係る発掘調査は、相手方と連携し適時対応していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 新庁舎建設事業に伴う令和3年度の発掘調査は、旧庁舎南側の市道沿いの駐車場跡地で実施し、堀跡などを確認することができ、併せて出土品の整理、記録、保存を行った。 官民の開発事業に伴う調査は10件実施した。
課題等	大館城跡（旧庁舎跡地）の発掘調査は令和5年度で終了予定。発掘を進めるにあたり、関係部局と綿密に協議を重ねながら進める必要がある。発掘調査記録や出土品の整理、記録、保存を確実に、丁寧に実施していく。 大館城は歴史的に興味深い箇所であり、発掘調査の成果について適宜情報発信し、関心を高めていきたい。
学識経験者等の意見	地道な作業に対し感謝する。おかげでこの辺りの景観も良くなったように感じる。見学会などの情報発信を継続して、市民の協力が得られるように頑張してほしい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

4-3-2

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
3	文化財の保護と調査を進め、未来に伝える
	担当課（館）
	③ 鳥潟会館庭園の国指定を目指した取り組み
	歴史文化課
活動内容	文化庁の名勝調査事業として、4年をかけて国の名勝指定の申請に耐えうる報告書の刊行を目指す。今年度は3年目で、昨年度に引き続き調査委員会の開催、庭園の調査、文献の調査を行う。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満） 令和3年10月29日に名勝地調査委員会を鳥潟会館で開催し、令和2年度に作成した中間報告書について、名勝指定を目指す上での課題・調査の進め方など詳細なアドバイスと指示をいただいた。また、庭園の毎木調査の他、鳥潟家に関わる文献の調査を行い、3年度末時点の調査結果を反映させた報告書を作成した。
課題等	調査事業は令和4年度が最終年度となる。 前年度までに委員からいただいた意見や調査結果などを盛り込んで、名勝申請に耐えうる報告書を作成する必要がある。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	積み上げてきた調査を大切にしながら、名勝指定に向けて頑張ってもらいたい。
	歴史文化課
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る（達成率100%超） <input type="checkbox"/> 目標どおり（95～100%） <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る（80～94%） <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る（80%未満）
課題等	
	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

推進目標	
4	郷土の歴史と文化を学び、大館びとの誇りを醸成する
重点施策	
4	歴史的風致維持向上計画に基づき、風致を構成する有形無形の文化財の保全と活用に努める
	担当課（館）
	① 歴史的風致維持向上計画の事業に取り組む民間組織への支援
	歴史文化課
活動内容	「文化遺産活用まちづくり実行委員会」の事業は4年目を迎える。各種事業の実績に結び付くよう積極的に支援していく。 昨年度に続き、ヘリテージマネージャーのステップアップ講座や大館神明社例祭の9講の伝承曲のCD制作事業が予定されており、関係課とも連携して取り組んでいく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会が計画していた大館神明社例祭各講伝承曲のCDを制作し後世への継承及び普及啓発を行った。また、大館ばやし保存会ホームページを開設し、情報発信を図ることができた。ヘリテージマネージャー育成事業として市内でのフィールドワークや研修会を実施した。 事業の実施にあたり、実施団体や関係課と連携を図り、県文化財保護室や文化庁とも協議しスムーズに進めることができた。
学識経験者等の意見	歴史まちづくり事業の中で、ソフト事業を推進しており、伝統芸能の継承や歴史的建造物の保存活用などについて取り組んでいるが、本委員会に伝統芸能組織の新規参加がない状況。 今後、伝統芸能活動の維持保存を図っていくためにも、これまでの事業の成果を活かし、賛同する団体を増やしていきたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	先にもあったが、伝承は大変難しい問題。伝承曲のCD作成は良いこと。文化的活動は時間がかかるが、市民の応援を得るため、見える化して、情報発信などの活動を進めてほしい。
	歴史文化課
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	
	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	